

単元名 くぎうちトントン(工作)

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 釘を打ってできる形を見付け、表したいことに合わせて、表し方を工夫することができる。
 (2) 打った釘の形や触り心地から、自分のつくりたい物をイメージし、どのように表すか考えるとともに、自分や友達作品を見て、できた色や形のよさや面白さなどを感じ取ることができる。
 (3) 釘を打つ感触を味わいながら、形を見付けることを楽しもうとする。

標準的な展開

03080104_001

【準備等】参考作品、金づち、釘、木切れ、板材、釘抜き、ペンチなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 金づちの扱い方、釘の打ち方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の作品を見て気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 木と釘でできている 釘で顔をつくっている ★木に釘を打って、楽しいものをつくろう 金づちの扱い方、釘の打ち方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> 打ち始めは平らな面で柄の頭に近い方を持って軽く打つ 釘がしっかりささったら、柄の下の方を持って打つ 使っていない木を台にしたり、机の角を使ったりして安定させる 打ち終わりは反対側の丸みのある面で打ち込む 釘の打ち方をいろいろ試す。 <ul style="list-style-type: none"> まっすぐ釘を打つ たくさん打つ 釘の高さを変えて打つ 太さの違う釘を打つ 斜めに打つ <p>2～4 つくりたいものに合わせて、釘の打ち方、釘の並べ方、木切れのつなぎ方を工夫してつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 釘を打ってできた形から想像を広げ、表現したいものをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> 木の下に釘を打ったら、動物みたい たくさん釘をうったら、髪の毛みたい 木とつなげたら、動くようになった <p>5 友達の作品を鑑賞しながら、印象に残ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の作品を鑑賞し、釘の打ち方の面白さや工夫に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書3・4上 P.32, 33 教科書P.32～33の作品を見て、どんな表現方法で表しているかを話し合わせる。 参考作品を使い、具体的に説明する。 教科書3・4上 P.60～61を見て、道具の正しい扱いを身に付けさせる。 児童が安心して活動できるような、場の設定も心がける。 【評】いろいろな打ち方を試しながら、道具を適切に扱う活動を通して、「知識・理解」を評価する。 釘の打ち方や板のつなぎ方を工夫することによって、つくりたいものの表情や動きが変わることを知り、試しながら活動に取り組ませる。 安全には十分に留意して活動させる。 【評】釘を打ってできた形から、自分が表したいものを想像し、どのように表すか工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 お互いの作品のよいところを発表させる。 釘の打ち方、並べ方、つなぎ方などに注目させる。 【評】自分や友達の作品のよさや面白さを話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】作品やこれまでの学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】